

# 日本共産党 市民の暮らし優先の市政をみなさんと

## 切実な願い議会に届け前進

### 多重債務の相談窓口開設

生活苦などで多重債務者が増える中、税や国保料滞納の大きな要因ともなっています。このことから、解決を支援することで、滞納の解消と生活再建が図られると相談窓口の設置を議会で求め、新年度設置となりました。



### 全小中学校へのAED設置

小中学校の児童・生徒などの不慮の事故で心肺停止に備え、全小中学校でのAED（自動体外式除細動器）の設置を求め、新年度全小中学校でのAEDの設置となりました。



### 妊産婦健診の拡大

厚生労働省は昨年公費負担について、厳しい財政状況でも最低5回は実施を原則とするとの通知を行っています。門真市ではこれまで1回の助成でしたが、3回までの拡充となりました。代表質問では厚労省が通知している最低5回までの拡充を求めました。

### 放課後児童クラブの拡充

児童福祉法に基づく小学校の児童の放課後対策の「放課後児童クラブ」が新年度5校拡充され11校となります。来年度は4校の拡充ですべての小学校で放課後児童クラブが開設されます。



### センサー付き防犯灯設置拡充

人が通ると、2倍の明るさとなり、ひっくりなどの防止効果のあるセンサー付き防犯灯が100か所設置されることとなりました。高価なスーパー防犯灯より効果抜群と、決算特別委員会でも設置拡大を求めていました。

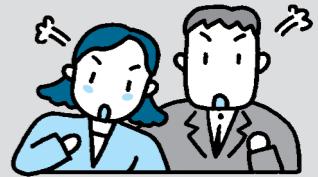
### 政務調査費の領収書添付

議員の政務調査に関する費用として一人当たり月額6万円が支給されていましたが、領収書添付の義務付けがなく、不透明となっていました。党議員団は繰り返し領収書の添付を求めてきました。議員提案でようやく領収書の添付が義務化されました。また、政務調査費は4万5千円となり、1万5千円が議員視察費を公務として厳格に扱われるようになりました。



### 市民合意なしの

## 行革強行は断固反対です！



### 長寿祝金等の削減

年金・医療・介護など高齢者いじめがどんどん推し進められている中で、ささやかな励ましの制度だった長寿祝金等制度も大幅後退。77歳の祝品は5000円相当から3000円相当に。88歳(2万円)、99歳(3万円)の祝金を廃止。「こんなところを削るのか!」と憤りの声が上がっています。

### 保育所民営化

わずか7園しかない公立保育園を09年度4園一度に民営化しようとしています。職員の配置や応募法人の保育所で大量に退職者が出てることなど、保護者の不安が解消されることなく、運営法人の選定が行われています。保護者合意のない民営化の強硬は絶対に許されません。

### 粗大ゴミ有料化実施

計画段階で市民への説明会を全く開かず、不十分な意見聴取で昨年9月議会で決定された粗大ゴミの有料化が4月から実施となりました。不法投棄問題など問題は山積。市民の不安と負担増の押し付けです。

### 門真まつり中止で市民協働？

35回の歴史を持つ「ふるさと門真まつり」の中止、ごみのリサイクル活動などで全国的に有名な「リサイクル活動機構かどま」への工房事業委託の大幅な削減が十分な説明がされないまま強行。市長は「市民協働」といいますが、市民との溝はますます拡がるばかりです。

### 民間委託、臨時・派遣雇用の推進で不安定雇用促進

「少人数行政」を合言葉に職員を大幅に削減し、民間委託や臨時・派遣雇用を推進しています。このなかで、「偽装請負」も発覚。行政が不安定雇用を促進し、公的責任を後退させることは大きな問題です。

### 事業の廃止・休止・縮小

新年度は事業の廃止・休止、縮小が目白押しです。緊急援護資金の圧縮、児童のプール開放の縮小、ごみ減量や男女共同参画の各種啓発事業が廃止、文化振興事業団の解散など、福祉・教育・くらし・文化振興など、全ての分野での市民サービス後退です。